

# 第1回 岡山大学国際学都シンポジウム

## 学都とは何か？－ストラスブールの挑戦－

フランス北東部に位置するストラスブール。このまちは、欧州議会やプティ・フランスなどの観光地区だけではなく、公共交通や環境など持続可能なまちづくりの先進地として知られています。また、ストラスブール大学を中心に大学と都市とが一体となった、いわゆる学都としても注目すべき地方都市です。

岡山大学では、ストラスブールを学都のモデルの一つとし、「学都岡山」を実現するための研究を推進しています。この度、ストラスブールの大学と都市との連携で活躍されているお二人をお招きし、地域が大学に求めているもの、大学が地域に貢献できることを先進事例から学び、「学都岡山」実現への道筋を探ります。

- 🕒 期 日 2012年 **11月6日(火)**
- 📍 場 所 岡山大学創立五十周年記念館 金光ホール
- 👤 参加者 教職員・学生・一般の方
- 🎫 入場料 無料（どなたでも参加できます）



14:00 – 14:55

開会あいさつ 森田 潔 岡山大学長

基調講演 『ストラスブール市における大学と地域の関わりについて』  
Robert Herrmann ストラスブール市第一助役・バ＝ラン県議会議員  
～休憩～



Robert Herrmann

15:00 – 15:40

講演 『都市とストラスブール大学連合との連携について』  
Sylvain Schirmann ストラスブール政治学院長  
～休憩～



Sylvain Schirmann

15:50 – 17:00

対話の時間 『都市と大学との連携～学生・留学生の力をまちづくりに活かす～』  
パネラー Robert Herrmann ストラスブール市第一助役・バ＝ラン県議会議員  
Sylvain Schirmann ストラスブール政治学院長  
コメンテーター ヴァンソン藤井由実（『ストラスブールのまちづくり』著者）  
モデレーター 荒木 勝 岡山大学理事（社会貢献・国際担当）・副学長

主催：岡山大学地域総合研究センター 後援：岡山大学国際学術都市構想会議

お問い合わせ：岡山大学地域総合研究センター（担当：岩淵） 086-251-8491